

豊かな自然、歴史と文化を育む生涯学習のまち

久慈市山形市民センター



やまがたビジョン策定委員会



遠島山トレッキング

公民館の沿革・年表

- ・昭和26年7月 山形村公民館設置
- ・昭和31年4月 移動公民館開設
- ・平成10年7月 山形村山村文化交流センター開設設置
(山形村公民館・山形村立図書館複合施設)
- ・平成18年3月 久慈市立山形公民館に改名
(市村合併)
- ・平成29年4月 公民館から市民センターに機能変更
久慈市山形市民センター開設

左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

- 旧山形村時代に開設され、地域住民の集いの場となっている。公民館機能のほかに図書館、舞台 (ホール) も併設されており、学びや発表の場としても活用されている。
- 町内は大きく8地区に分かれており、市民センターだけではなく、各地区に向き様々な事業を展開している。
- 令和3年度に山形町の将来像をみんなで話し合う「やまがたビジョン策定委員会」が設立されたことで、地域の問題点や目標を住民が見直す機会となっている。(令和4年度策定予定)

1. 都道府県名	岩手県	3. 公民館対象人口	2286人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	久慈市	4. 建物設置年月日	平成10年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 (<input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (久慈市)				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1241人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3920人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	合計 5,161人		
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 (職員のうち社会教育士の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 (職員のうち社会教育士の数 0人)	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 合計 5人	
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 (市民センター運営協議会)				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (女性の仲間づくりの促進、地元食材を活用した青壮年交流の促進)	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (ホールを備えていることから発表会等による利用もある。)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (山形小学校、山形中学校、NPO法人やまがた文化スポーツNPO、山形町内各町内会、山形地区老人クラブ連合会、NPO法人ヤマセデザイン会議)				

久慈市山形市民センター

OPEN 9:00~22:00 H P <https://www.city.kuji.iwate.jp/>
 TEL 0194-72-3711 SNS



久慈市HP



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

●山形地区は、旧山形村全域を対象にしており、地域の大部分を山林が占める山村である。合併により久慈市山形町となり、8地区に13の自治会がある。合併により山形町となった今でも、村だった時から続く地区ごとのまとまりのほうが強い。また、多分に漏れず少子高齢化の問題は深刻であり、合併時の8小学校2中学校から統廃合により現在は2小学校1中学校となっている。将来地元に住みたいと思えるような魅力的な地域となるよう、情報発信や地域活動の実施、地域資源の掘り起こしが必要と考え、様々な活動に取り組んできた。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため多くの活動が中止となったが、地域コミュニティの維持のため各種活動を再開継続していく。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【おらほーる劇場】

●旧山形村時代より開催していた「おらほーる劇場」を市民劇場として、再開。市民を中心に地域住民が脚本、演者、美術、音響、照明などすべて手作りの演劇を行っている。2007年に第1回が始まり、これまで13回開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2年開催されていないが、令和4年こそは実施したいと準備を進めている。



おらほーる劇場

【三世交代】

●親、子、孫の交流を活性化することで地域に愛着が生まれることを期待し、世代間の交流が進むような取り組みを進めている。

【町民文化祭】

●住民活動の発表の場として開催しており、作品展示や地元産品等の販売、体験コーナー等があり、また、山形中学校との合同開催にすることで、地域全体の絆をつなげることに寄与している。

【氷筍観察会・ヒメボタル観察会】

●小国地区にある内間木洞は市の重要文化財にも指定されている鍾乳洞で、冬になると入口から入り込む冷気により、まるでつらが地面から生えているかのような氷筍が見られる。また、全国有数の白樺林である平庭高原にはヒメボタルが生息し、幻想的な光景を見ることができる。山形市民センターがヒメボタル観察会を実施し、山形地区の魅力を参加者にアピールすることが、地元住民にとっては魅力の再発見につながっている。



三世交代ゲートボール

3. 取組による成果や効果

【これまでの取り組み全体による成果・効果】

- 移動講座**：地区集会所で軽スポーツやクラフト教室を開催することで、市民センターまでの交通手段がない人も参加することができ、多くの人に市民センター活動に参加いただくことができた。
- 遠島山トレッキング**：令和3年度から遠島山山開きが実施されることになり、センターでも参加者を募り当日にトレッキングを行った。登山愛好家などが参加し、山形の豊かな自然をアピールできた。
- 世代間交流**について、各地区で開催することで地域の結束が強まっているものと考えている。このつながりが地区内から町内全体へ広がることを期待している。
- 山形町の魅力の再発見と発信について、多くの事業にリーダーが生まれていることから、魅力ある地域であることが少しずつ広まってきているものと考えている。



町民文化祭体験コーナー

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 市民センター運営協議会において、各市民センターの戦略・運営方針・事業計画、実施状況等について協議し、地域の課題が運営に反映されているかどうか評価・検証し、必要に応じて改善に取り組むこととしている。（令和3年度は3回開催）
- 各事業の参加者の感想や寄せられた意見をもとに打ち合わせを行い、生の声を次の事業に生かすよう取り組んでいる。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 山形地区の豊かな自然を魅力あるものとして、地域住民をはじめ多くの人に伝えていくことを目指し、各種教室や活動を行っている。
- 少子高齢化が深刻な地域であり、**高齢者の健康増進・生きがい創出とともに、子どもたちが地域に愛着をもてるような活動**を進めていきたい。



内間木洞の氷筍

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 地域の代表者やPTA会長らをメンバーとする「（仮称）やまがたビジョン」策定委員会を令和3年度に設立し、**山形町の将来像などが話し合われている**。市民センターとしても、目標を共有し、山形町の将来に貢献していきたいと考えている。
- 日本有数の白樺林を備える平庭高原の環境整備に協力し、魅力発信の一助となる。



白樺林整備